



2018年11月29日

【日本初!】空港カーボン認証レベル3を取得しました

～成田国際空港はステークホルダーとともにCO₂排出量の削減に取り組んでいます～

空港から排出されるCO₂の管理や削減の状況を評価する制度である空港カーボン認証（Airport Carbon Accreditation）プログラムにおきまして、空港管理者などを会員とする国際機関である国際空港評議会（ACI: Airports Council International）により、本年11月21日付で成田国際空港が日本で初めて『レベル3』を取得したことをお知らせいたします。

成田国際空港は、地球的視野に立った環境にやさしい循環型空港「エコ・エアポート」として、エコ・エアポート基本計画を策定し、航空会社をはじめとするステークホルダーとともに、環境負荷低減と地球規模の環境課題に取り組んでおります。

エコ・エアポート基本計画の取り組みの1つとして、空港カーボン認証プログラムに参加し、NAAとNAAグループ会社の排出するCO₂が計画的に削減されていることを証明する段階である『レベル2』を2018年1月に取得しておりましたが、今般さらに上のレベルである『レベル3』を取得しました。

これは、航空機や車両、お客様の空港へのアクセス、従業員の通勤など、空港全体の活動により排出されるCO₂を把握するとともに、主要なステークホルダーとともにCO₂排出量の削減に向けた計画を策定するなどの取り組みが評価されたものです。

今後とも空港カーボン認証プログラムを活用しながら、ステークホルダーとの協力体制を一層強化し、さらなるCO₂排出量の削減に取り組んでまいります。

※「空港カーボン認証」と「国際空港評議会」については、別紙をご参照ください。



空港カーボン認証レベル3ロゴ



空港カーボン認証レベル3認証書

NAA 成田国際空港株式会社

〒282-8601 千葉県成田市成田国際空港内NAAビル

URL : <https://www.narita-airport.jp/jp/>

空港カーボン認証 (Airport Carbon Accreditation)

- ACIが、空港から排出されるCO₂の管理や削減の状況を4段階で評価する認証プログラム



【レベル1】
空港管理者が排出したCO₂の算定



【レベル2】
空港管理者が排出したCO₂を管理し、削減の達成



【レベル3】
空港管理者以外（航空会社など）が排出したCO₂の算定
主要なステークホルダーとのCO₂排出量の削減に向けた計画の策定



【レベル3+】
空港管理者が排出したCO₂をオフセットし、カーボン・ニュートラルの達成

- 独立した第三者による検証が必須
- 5つに分かれるACI地域のうち、ACI欧州地域により2009年に運用が開始され、2011年に日本が属するACIアジア太平洋地域に導入、2014年後半にはACI全世界地域に拡大

国際空港評議会 (ACI: Airports Council International)

- 国際空港評議会 (ACI) は、世界の空港の事業者団体で、会員の空港同士、並びに国際民間航空機関 (ICAO)、国際航空運送協会 (IATA) や民間航空交通管制業務提供機構 (CANSO) を含む他の世界の航空パートナーとの関係を促進することを目的に1991年に設立
- 関連する政策立案の重要な各段階において、空港にとっての最大の利益（関心）が反映されるよう代表して意見を申し述べ、安全、確実、効率的、環境的にも維持可能な世界の航空輸送体制を確立するため、ACIは大きく貢献
- 世界全体でACIの会員数は、176ヶ国、641組織、1,953空港（2018年1月時点）
- ACIは5つの地域（アジア太平洋、北米、欧州、ラテンアメリカ・カリブ、アフリカ）に分かれての活動も行っており、日本が属するのはアジア太平洋地域

